

平成28年度 関西大学 国内研究員

研究支援グループ

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
文	全学で3名以内	教授	関 肇	H28.4.1～ H29.3.31	1.自宅 2.関西大学個人研究室 3.国立国会図書館 3.日本近代文学館	1920～30年代の主要な新聞小説および、その関連資料について、本学図書館や国立国会図書館等にて資料収集・整理を行う。主な対象は、『大阪毎日新聞』『時事新報』などである。次に、新聞小説に付された挿絵と本文の関わりや読者の反応、演劇化や映画化の状況について新聞の読者投稿欄や雑誌などを分析し論文にまとめる。	
		教授	本村 康哲	H28.4.1～ H29.3.31	1.個人研究室 2.図書館 3.自宅 4.神戸大学国際文化学部情報コミュニケーション論講座	1点目は、人間中心設計プロセスにもとづいた、高等教育における教育情報システムの開発を行う。2015年度はユーザーインターフェース設計とシステム実装を進め、研究員期間中はその評価と改善を行ったうえで、論文報告する。 2点目は、博物館の来館者情報支援システムに関してこれまで行ったユーザ調査と分析、ユーザインターフェース設計について、評価・改善と実装を行い、論文報告する。	
商		准教授	西岡 健一	H28.9.21～ H29.9.20	1.自宅 2.関西大学(個人研究室、図書館) 3.神戸大学経営学研究科 4.小樽商科大学	様々な研究プロジェクトの推進と研究成果のまとめ作業(執筆)に時間を費やすことになる。特に産学連携研究プロジェクトの進行のために、研究は主に関西大学にて行う。その他に、国内他大学への研究滞在中も検討している。	

※ 規程 第4条第2項による在職年数及び年齢要件(いずれも平成28年4月1日現在)に抵触するものではありません。